

三原市立宮浦中学校第 1 学年 美術科学習指導案
単元名：いろいろな表情 ～いろいろな技法を使って～

指導者：三原市立宮浦中学校 木口 康子

- 1 日 時 : 平成27年 11月9日(月) 第5校時
2 場 所 : 美術教室 I
3 学年・学級 : 第1学年 2組(38名)
4 題 材 名 : いろいろな表情 ～いろいろな技法を使って～

(1) 題 材 観

本題材は中学校学習指導要領美術の第1学年A表現(1)「イ 主題などを基に、全体と部分との関係などを考えて創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構成を練ること。」より設定している。内容は様々な感情や思い、表情をモダンテクニックを使い表現する制作である。絵を描くとは、絵具と筆で描くだけにとどまらず様々な表現技法があることを知り、制作する。こちらが技法ごとに課題を設定し、それを基に生徒一人一人が自ら生み出した主題を基に、自分の思いを練り上げて作品を作ることで、自己表現を実現していくことになる。したがって生徒が対象のよさや美しさをどのようにとらえ、どのような主題をもち、それをどのように表すかという構想を明確化させる。また、友人の作品を鑑賞し様々な表現の個性を感じ取り味わう。

(2) 本題材において育成しようとする資質・能力とのかかわり

本校として以下の資質・能力の育成に重点を置く必要があるとした。

【知識・スキル】①課題解決力②知識・情報活用能力③表現力④コミュニケーション能力

【意欲・態度】⑤協調性・柔軟性⑥責任感⑦主体性・積極性

【価値観・倫理観】⑧自己理解⑨共感力⑩公共心⑪人としての思いやり

この中から、本題材において育成しようとする資質・能力とのかかわりについて、次の3点に重点を置くものとする。

【知識・スキル】

①課題解決力

提示された課題の中で自分なりの主題を見つけ、それを各技法で制作する。

【意欲・態度】

⑦主体性・積極性

意欲関心を持って授業内の活動ができている

【価値観・倫理観】

⑨共感力

友人の作品を鑑賞することで、自分とは異なる色や表現の仕方の中より良さを見つける。

(3) 生 徒 観 (調査結果からみる課題)

アンケート調査では「美術が苦手である」や「やや美術が苦手である」と感じている生徒が10.5%いた。話し合い活動では他人の作品の良さを感じ取り、言葉で他人に表現ができていた。2学期の絵文字の制作では提出

率は100%だった。そのうち95%以上の生徒が授業時間内に制作が終わっている。課題や時間的な条件の中から自分なりに解決するように努力をしている。ただし、時間内に終わるようにアイデアをじっくり考えることができていなかったり、作業が乱雑になってしまう生徒が数名いた。制作のさまざまな方法を学ぶことで、表現に工夫をする楽しさや、他人の作品の鑑賞する力をつけたい。

(4) 指導観 (指導改善のポイント)

今回の題材では、各技法につき課題が出され、その課題について自分なりの主題を決める。今回だけに限らず今後の制作のときに応用できる技法の修得もねらっている。対象のイメージをとらえたりするなどの資質や能力を伸ばし、それを表現する際の形や色彩、材料などの性質やそれらがもたらす感情を理解すれば表現が豊かになると考えられる。毎時間制作する技法を変えながら8つの技法制作をする。

音楽は形は無いが表現や感情を理解しやすいと考えた。聞いた音楽などを特定の技法で表現するならば、色や色の組み合わせ、形、量、表面の質感などを工夫する必要がある。当然表現には個性が表れ、グループでの話し合いや、自分の表現とは違う他人を認める活動を重ねることで共感が身に付けられると考えられる。

5 題材の目標と評価規準

題材の目標

- モダンテクニックの各技法の手順や表現の違いに関心を持ち、各技法にふさわしい表現を工夫し制作する学習に主体的に取り組む。
- 各題材に興味を示し、各題材の音色や強弱、曲想を知覚し、自分なりに解釈し曲にふさわしい美術表現を創意工夫する。
- 各技法の特徴を理解し、自分が考えた主題を表現するための技能を身に付ける。

単元の評価規準

美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な能力	鑑賞の能力
ひかれる対象を選び、素直な思いを抱くことができる。感じた思いを表現しようとすることができる。	使用する技法や描画材等を適切に選び自分の思いに合った表現を発想し構想することができる。	表現を工夫し、形や色に自らの思いを反映させることができる。	対象を良く見て感じ取ったことを、適切に明確に他者に伝えることができる。また他者の思いや表現を味わうことができる。

6 指導と評価の計画

全5時間 (本時は1/5)

次	学習内容 (時数)	主な学習内容				資質・能力の評価 (評価方法)
		関	考	表	知	
1	○モダンテクニック <div style="text-align: right; border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 2px;">実行</div> <div style="text-align: right; border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 2px;">課題の設定</div>	○				・意欲関心を持って授業内の活動ができてきているか。 ⑦主体性・積極性 (生徒観察・作

	について ○デカルコマニー			◎	・課題を表現する主題を自らの力で考え、適切な作業で主体的に作業に取り組んでいるか。	品) ①課題解決力(作品)
2	○ドリッピング, にじみたらし込み 課題の設定 実行	○		◎	・意欲関心を持つ授業内の活動ができているか。 ・課題を表現する主題を自らの力で考え、適切な作業で主体的に作業に取り組んでいるか。	①課題解決力(作品) ⑦主体性・積極性(生徒観察・作品)
3	課題の設定 実行 ○スパッタリング, ステンシル	○		◎	・意欲関心を持つ授業内の活動ができているか。 ・課題を表現する主題を自らの力で考え、適切な作業で主体的に作業に取り組んでいるか。	①課題解決力(作品) ⑦主体性・積極性(生徒観察・作品)
4	課題の設定 実行 ○マーブリング, フロッタージュ	○		◎	・意欲関心を持つ授業内の活動ができているか。 ・課題を表現する主題を自らの力で考え、適切な作業で主体的に作業に取り組んでいるか。	①課題解決力(作品) ⑦主体性・積極性(生徒観察・作品)
5	制作の振り 振り返り まとめ・創造・表現	○		○	・技法ごとに、主題・工夫・作業・感想をワークシートに記入。4人班で友人の作品鑑賞。表現の工夫について話し合い、発表。	⑨共感力(生徒観察・ワークシート)

7 本 時 の 展 開

(1) 本時の目標

自分の思いを練り上げて表現するために、デカルコマニーで色や色の数や量に工夫をして制作する。

(2) 観点別評価規準

◎表現を工夫し、形や色に自らの思いを反映させることができる。

評価方法：生徒観察・作品

(3) 準備物

絵の具セット, 教科書, 資料集, ファイル

(4) 学習の展開

学習活動	指導上の留意事項 (■)	●育成しようとする
------	--------------	-----------

		(努力を要する生徒への指導の手立て◆)	資質・能力 ○評価
導 入	○モダンテクニックについての解説	■全員が理解できるように確認しながら進める。	
展 開	<p>【本時の目標】自分の思いを練り上げて表現するために、デカルコマニーで色や色の数や量に工夫をして制作する。</p> <p>○デカルコマニーの制作方法についての説明</p> <p>○課題1の提示 課題の設定</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">個人思考</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">集団思考</div> <ul style="list-style-type: none"> ・前後左右の人と意見交換 ・課題から主題を見つけ、作品裏に記入 ・制作 <p>・前後左右の人と意見交換</p> <p>○課題2の提示 課題の設定</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">個人思考</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">集団思考</div> <ul style="list-style-type: none"> ・前後左右の人と意見交換 ・課題から主題を見つけ、作品裏に記入 ・制作 <p>・前後左右の人と意見交換</p>	<p>■1時間の内容を想起させる。</p> <p>■制作方法は手順に沿って説明</p> <p>◆実際に制作してみせる</p> <p>紙を半分に折る・絵具の種類・色の数・色の組み合わせ・絵の具の量・紙の押さえ方などの注意点を説明</p> <p>■なぜ主題を決めたのかの理由を考えるようアドバイスをする。</p> <p>◆机間指導をしながら遅れている生徒には、話を聞きながら色についてのアドバイスを言う。</p> <p>◆机間指導をしながら遅れている生徒には、話を聞きながら色についてのアドバイスを言う。</p>	<p>⑦主体性・積極性 (生徒観察・作品) 意欲関心を持って授業内の活動ができている</p> <p>①課題解決力(作品) 提示された課題の中で自分なりの主題を見つけ制作につなげる</p> <p>⑨共感力 友人の作品を鑑賞することで、自分とは異なる色や表現の仕方の中より良さを見つける。</p> <p>①課題解決力(作品) 提示された課題の中で自分なりの主題を見つけ制作につなげる</p> <p>⑨共感力 友人の作品を鑑賞することで、自分とは異なる色や表現の仕方</p>

	具の片づけ		の中より良さを見つける。
まとめ	今日の作品の中で表現が適格であると思えるものや、オリジナリティーの強い作品などについて話し合う 発表 ○振り返り 振り返り ○ワークシートへ自己評価 まとめ・創造・表現		⑨共感力 友人の作品を鑑賞することで、自分とは異なる色や表現の仕方の中より良さを見つける。

(5) 板書計画

「いろいろな表情 ～いろいろな技法を使って～」

【本時の目標】自分の思いを練り上げて表現するために、デカルコマニーで色や色の数や量に工夫をして制作する。自分なりに主題を見つけ、デカルコマニーで表現しよう。

モダンテクニック

デカルコマニー制作方法1

- 1 紙を半分に折る
- 2 音楽を聴きイメージから主題を見つける
- 3 主題を画用紙裏に書く
- 4 ポスターカラーを画用紙の反面に乗せる
- 5 紙を閉じて押す
- 6 押したらすぐ開く
- 7 画用紙をなるべく広げて机の隅に置く

デカルコマニー制作方法2

- 1 紙を半分に折らない
- 2 **1の時と一緒に**
- 3
- 4 スターカラーを画用紙の全面に乗せる
- 5 新聞の広告紙を上から乗せ押さえる
- 6 押したらすぐ開く
- 7 広告紙を取り去り広げて机の隅に置く